

第1 少年非行の概況

POINT!

- 刑法犯少年
251人（前年比：27人 **減少**、9.7% **低下**）
- 触法少年（刑法）
46人（前年比：42人 **減少**、47.7% **低下**）
- 特別法犯少年
97人（前年比：26人 **増加**、36.6% **上昇**）
- 触法少年（特別法）
4人（前年比：4人 **減少**、50.0% **低下**）
- ぐ犯少年
5人（前年比：8人 **減少**、61.5% **低下**）
- 不良行為少年
6,043人（前年比：3,412人 **減少**、36.1% **低下**）

刑法犯少年と触法少年（刑法）の合計は**297**人！

特別法犯少年と触法少年（特別法）の合計は**101**人！

1 本県の概況

(1) 非行少年等の検挙・補導状況の推移

- 令和2年中に検挙・補導した非行少年及び不良行為少年の総数は、6,446人で、前年に比べ3,467人（35.0%）**減少**しました。
- 刑法犯少年は10年連続の減少となり、戦後最少を更新しました。

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2		
											前年比	増減率	
総数		12,765	11,358	9,327	9,128	13,783	12,233	10,459	9,978	9,913	6,446	-3,467	-35.0%
	うち女子	2,654	2,297	1,806	1,541	2,435	2,203	2,085	2,212	2,574	1,125	-1,449	-56.3%
非行少年	総数	2,052	1,763	1,547	1,277	1,116	895	728	587	458	403	-55	-12.0%
	うち女子	336	260	205	127	131	92	90	87	69	49	-20	-29.0%
犯罪少年	刑法犯少年	1,660	1,383	1,215	984	848	664	513	402	278	251	-27	-9.7%
	うち女子	280	214	156	96	78	60	50	56	28	29	1	3.6%
	特別法犯少年	123	120	94	91	86	75	85	60	71	97	26	36.6%
	うち女子	10	8	13	8	16	7	12	7	14	6	-8	-57.1%
触法少年	触法少年（刑法）	250	220	215	174	157	142	108	101	88	46	-42	-47.7%
	うち女子	38	28	29	14	24	22	20	14	16	10	-6	-37.5%
	触法少年（特別法）	5	19	8	15	5	5	1	4	8	4	-4	-50.0%
	うち女子	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	-1	-50.0%
ぐ犯少年		14	21	15	13	20	9	21	20	13	5	-8	-61.5%
	うち女子	8	8	7	9	13	3	8	10	9	3	-6	-66.7%
不良行為少年		10,713	9,595	7,780	7,851	12,667	11,338	9,731	9,391	9,455	6,043	-3,412	-36.1%
	うち女子	2,318	2,037	1,601	1,414	2,304	2,111	1,995	2,125	2,505	1,076	-1,429	-57.0%

	総人口		少年人口		刑法犯少年		刑法犯少年の人口比	
	(人)	前年比	(人)	前年比	(人)	前年比	(人)	前年比
龍ヶ崎市	76,218	-523	4,440	-139	21	18	4.7	+4.0P
土浦市	138,033	-484	7,613	-188	32	9	4.2	+1.3P
阿見町	47,927	172	2,644	-21	11	6	4.2	+2.3P
利根町	15,073	-330	720	1	2	±0	2.8	±0P
古河市	138,446	-828	7,717	-104	19	4	2.5	+0.6P
筑西市	99,987	-829	5,736	-188	13	±0	2.3	+0.1P
桜川市	38,905	-787	2,238	-133	5	±0	2.2	+0.1P
境町	24,061	-37	1,435	-15	3	3	2.1	+2.1P
下妻市	41,638	-326	2,492	-61	5	-1	2.0	-0.4P
坂東市	51,577	-326	3,094	-88	6	3	1.9	+1.0P
行方市	31,960	-644	1,735	-52	3	2	1.7	+1.1P
牛久市	84,675	38	4,707	83	8	4	1.7	+0.8P
八千代町	20,882	-332	1,234	-75	2	1	1.6	+0.8P
取手市	104,329	-338	5,102	-105	8	-6	1.6	-1.1P
大子町	15,687	-455	664	-28	1	1	1.5	+1.5P
常総市	59,314	-333	3,460	-53	5	-7	1.4	-2.0P
北茨城市	41,602	-520	2,172	-91	3	-1	1.4	-0.4P
鹿嶋市	67,120	-328	3,647	-133	5	1	1.4	+0.3P
高萩市	27,431	-432	1,473	-92	2	±0	1.4	+0.1P
美浦村	14,504	-108	761	-14	1	-1	1.3	-1.3P
かすみがうら市	40,254	-579	2,325	-89	3	±0	1.3	+0.1P
神栖市	95,396	26	5,595	-155	7	2	1.3	+0.4P
ひたちなか市	154,631	-449	9,273	-375	11	4	1.2	+0.5P
茨城町	31,412	-494	1,727	-106	2	-2	1.2	-1.0P
小美玉市	48,754	-446	2,822	-66	3	±0	1.1	+0.1P
水戸市	269,343	-318	14,424	-243	14	-7	1.0	-0.4P
日立市	173,750	-2,319	10,059	-418	8	-8	0.8	-0.7P
石岡市	72,351	-759	3,973	-117	3	-10	0.8	-2.4P
笠間市	73,664	-670	3,994	-131	3	-4	0.8	-0.9P
結城市	50,282	-535	2,770	-63	2	2	0.7	+0.7P
つくば市	244,528	3,541	13,109	-168	9	-17	0.7	-1.3P
稲敷市	39,127	-727	1,913	-136	1	1	0.5	+0.5P
常陸大宮市	39,111	-793	1,966	-131	1	-1	0.5	-0.5P
守谷市	68,777	1,081	4,190	-21	2	-7	0.5	-1.6P
常陸太田市	47,882	-876	2,355	-128	1	±0	0.4	±0P
東海村	37,666	-36	2,492	-33	1	-1	0.4	-0.4P
那珂市	53,149	-212	2,934	-77	1	-3	0.3	-1.0P
河内町	8,298	-150	381	-41	0	-1	0.0	-2.4P
鉾田市	45,886	-529	2,373	-55	0	-5	0.0	-2.1P
つくばみらい市	51,035	165	2,425	36	0	-4	0.0	-1.7P
潮来市	27,512	-295	1,444	-64	0	-1	0.0	-0.7P
大洗町	15,787	-205	904	-11	0	±0	0.0	±0P
城里町	18,005	-424	946	-55	0	±0	0.0	±0P
五霞町	8,162	-157	408	-10	0	±0	0.0	±0P
不定・県外	-	-	-	-	24	-1	-	-
県内合計	2,854,131	-13,910	157,886	-4,153	251	-27	1.6	-0.1P

注：総人口は、茨城県政策企画部統計課の「茨城県常住人口調査（茨城県の年齢別人口）」（令和2年10月1日現在）から抜粋しました。

又、少年人口については、14～19歳までの人口を合計しました。

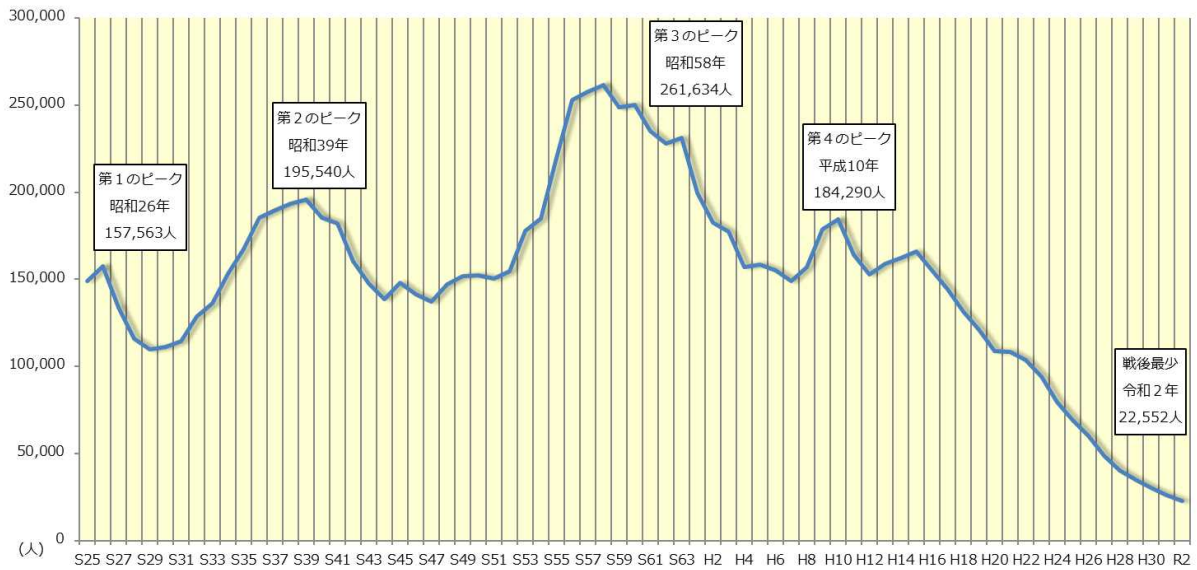
2 全国との比較

(1) 刑法犯少年と触法少年（刑法）の合計の推移

刑法犯少年と触法少年（刑法）の合計は、全国、本県とも**減少が続いており**、平成10年頃に迎えた第4のピークと比較して、それぞれ8割以上**減少**し、統計開始以降最少を更新しています。

【全国】

令和2年中の刑法犯少年と触法少年（刑法）の合計は22,552人で、平成10年の第4のピークに比べ、161,738人（87.8%）**減少**しました。



【茨城】

令和2年中の刑法犯少年と触法少年（刑法）の合計は297人で、平成9年の第4のピークに比べ、3,236人（91.6%）**減少**しました。





戦後から現在に至るまでの少年非行の情勢

戦後の少年非行は、その時代の社会情勢を背景として、4つの大きな波を形成しながら推移し、今日に至っています。

○ 第1のピーク（戦後の混乱期）

終戦直後の社会的混乱や道徳的退廃、経済的困窮により、年長少年による窃盗等の財産犯が多発した時期です。

全国、本県とも**昭和26年**に第1のピークがありました。

○ 第2のピーク（経済の高度成長期）

急激な経済成長に伴う都市化・核家族化が問題になり始め、こうした社会の変化に対応できなかった少年らによる凶悪犯、粗暴犯が多発した時期です。

全国では**昭和39年**、本県では**昭和40年**に第2のピークがありました。

○ 第3のピーク（経済の安定成長期）

オイルショック等により経済環境に大きな変化があり、「受験戦争」という言葉が生まれるなど、価値観の多様化が進み、経済的に豊かになる一方、少年非行が低年齢化し、「遊び型非行」とも言われる初発型非行が急増した時期です。

全国では**昭和58年**、本県では**昭和60年**に第3のピークがあり、刑法犯少年の検挙・補導人数はいずれも統計開始以降最多でした。

○ 第4のピーク（社会構造の変換期）

バブル経済の崩壊により社会経済が大きく変化していく中で、「親父狩り」といわれる路上強盗、「普通の子」が突然凶行に及ぶという凶悪犯罪が多発して社会的問題になった時期です。

全国では**平成10年**、本県では**平成9年**に第4のピークがありました。

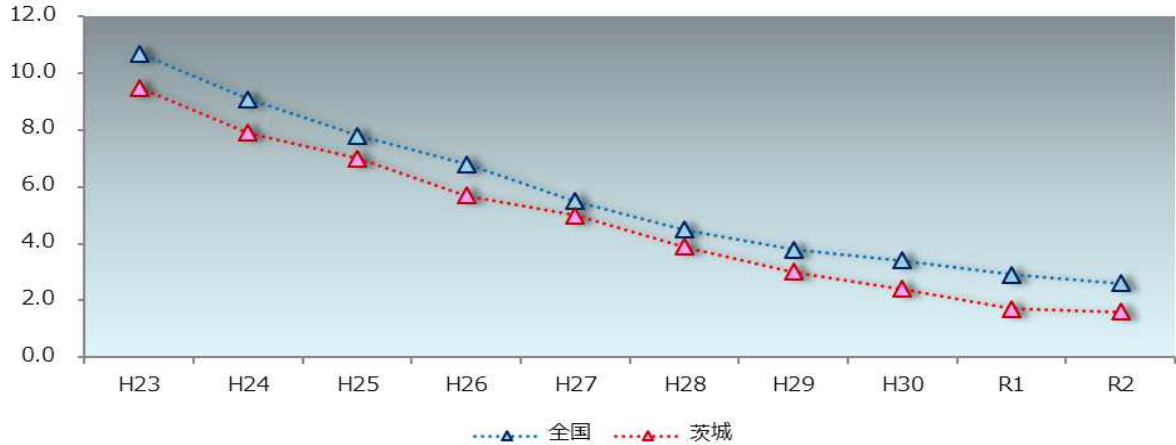
○ 近年の情勢

全国では平成16年から17年連続、本県では平成23年から10年連続で刑法犯少年が減少しており、いずれも統計開始以降最少を更新し続けています。

しかし、大麻等の薬物事犯で検挙される少年が全国的に増加傾向にあり、また、スマートフォンの普及等により、SNSに起因した少年の犯罪被害が増加し、少年の性を売り物とする新たな形態の営業が出現するなど、近年の少年を取り巻く社会環境は、未だに憂慮すべき状況にあります。

(2) 人口比の推移

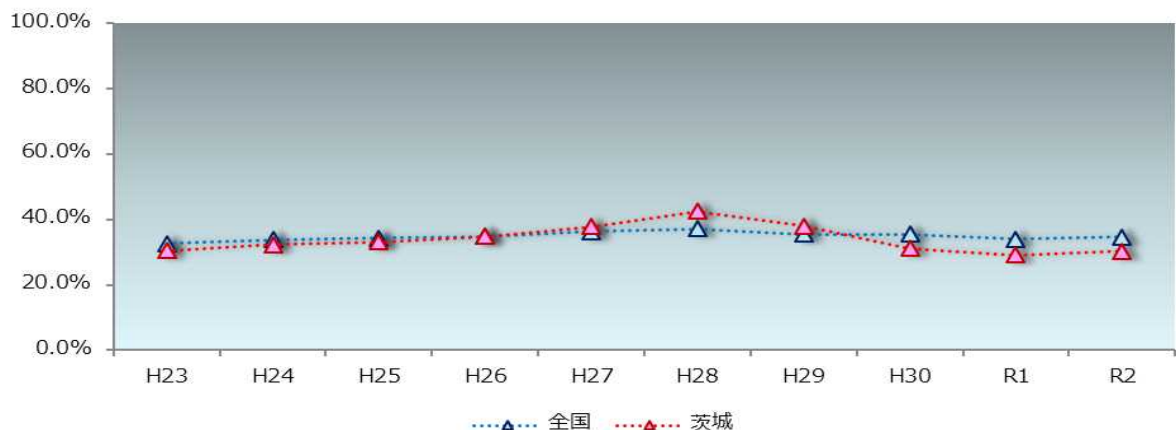
少年人口に対する刑法犯少年の割合は、全国、本県とも減少が続いており、令和2年中は、全国が2.6人で前年に比べ0.3人、本県が1.6人で前年に比べ0.1人、それぞれ**減少**しました。



		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全国	刑法犯少年	77,696	65,448	56,469	48,361	38,921	31,516	26,797	23,489	19,914	17,466
	人口比	10.7	9.1	7.8	6.8	5.5	4.4	3.7	3.3	2.9	2.6
茨城	刑法犯少年	1,660	1,383	1,215	984	848	664	513	402	278	251
	人口比	9.5	7.9	7.0	5.7	5.0	3.9	3.0	2.4	1.7	1.6

(3) 再犯者率の推移

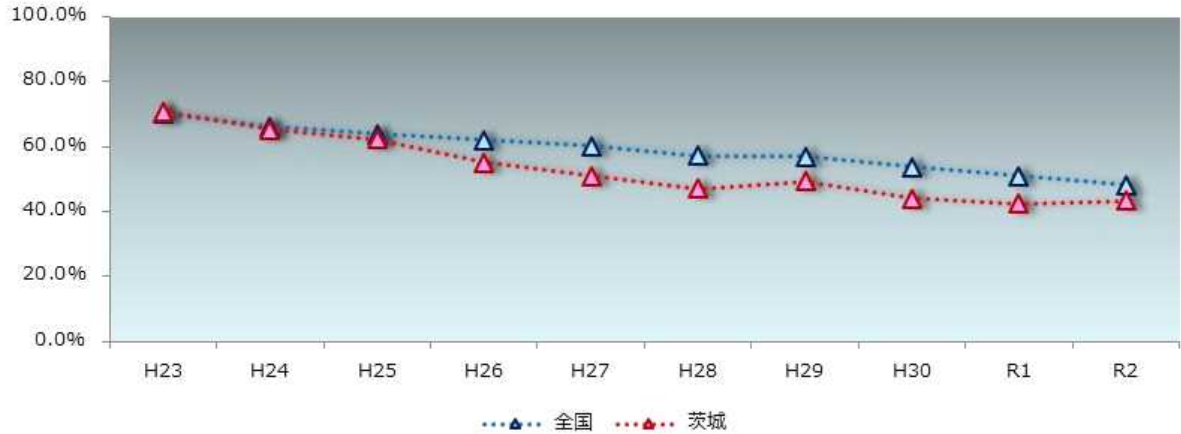
刑法犯少年の再犯者率は、本県では平成29年から低下が続いておりましたが、令和2年中は、全国が34.7%で前年に比べ0.7ポイント、本県が30.3%で前年に比べ1.2ポイント、それぞれ**上昇**しました。



		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全国	再犯者数	25,435	22,179	19,345	16,888	14,155	11,696	9,510	8,335	6,773	6,068
	再犯者率	32.7%	33.9%	34.3%	34.9%	36.4%	37.1%	35.5%	35.5%	34.0%	34.7%
茨城	再犯者数	507	447	402	343	321	283	195	125	81	76
	再犯者率	30.5%	32.3%	33.1%	34.9%	37.9%	42.6%	38.0%	31.1%	29.1%	30.3%

(4) 刑法犯少年に占める初発型非行の割合（構成比）の推移

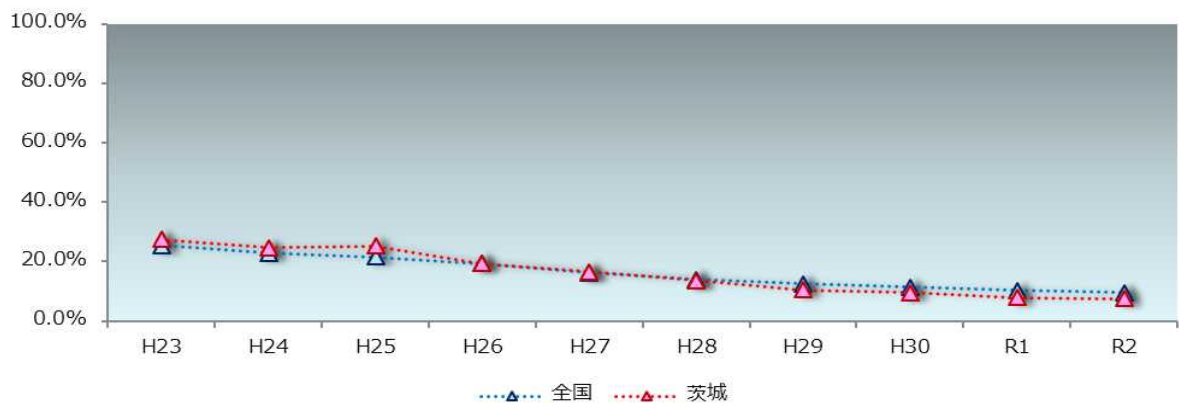
刑法犯少年に占める初発型非行の割合（構成比）は、全国、本県ともに低下傾向にありましたが、令和2年中における本県の構成比は43.4%で、前年に比べ1.0ポイント**上昇**しました。



		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全国	刑法犯少年	77,696	65,448	56,469	48,361	38,921	31,516	26,797	23,489	19,914	17,466
	初発型非行	54,569	43,302	36,021	30,037	23,458	18,045	15,247	12,616	10,153	8,433
	構成比	70.2%	66.2%	63.8%	62.1%	60.3%	57.3%	56.9%	53.7%	51.0%	48.3%
茨城	刑法犯少年	1,660	1,383	1,215	984	848	664	513	402	278	251
	初発型非行	1,175	905	756	542	432	313	253	177	118	109
	構成比	70.8%	65.4%	62.2%	55.1%	50.9%	47.1%	49.3%	44.0%	42.4%	43.4%

(5) 刑法犯総検挙人員に占める少年の割合（構成比）の推移

刑法犯総検挙人員に占める少年の割合（構成比）は、全国、本県ともに低下傾向にあり、令和2年中は全国が9.6%、本県が7.6%でした。



		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全国	総検挙人員	305,631	287,021	262,486	251,115	239,355	226,376	215,003	206,094	192,607	182,582
	刑法犯少年	77,696	65,448	56,469	48,361	38,921	31,516	26,797	23,489	19,914	17,466
	構成比	25.4%	22.8%	21.5%	19.3%	16.3%	13.9%	12.5%	11.4%	10.3%	9.6%
茨城	総検挙人員	6,032	5,611	4,809	5,068	5,141	4,873	4,909	4,237	3,562	3,311
	刑法犯少年	1,660	1,383	1,215	984	848	664	513	402	278	251
	構成比	27.5%	24.6%	25.3%	19.4%	16.5%	13.6%	10.5%	9.5%	7.8%	7.6%

(6) 都道府県別刑法犯少年と触法少年（刑法）の合計の検挙・補導状況

令和2年中における都道府県別刑法犯少年と触法少年（刑法）の合計の検挙・補導人員は下表のとおりで、本県は全国で16番目でした。

No.	都道府県	総数（人）	刑法犯少年	触法少年（刑法）
1	警視庁	3,154	2,265	889
2	大阪	2,313	1,922	391
3	兵庫	1,520	1,063	457
4	愛知	1,425	1,219	206
5	神奈川	1,295	1,245	50
6	埼玉	1,249	1,132	117
7	福岡	1,159	940	219
8	北海道	815	544	271
9	千葉	810	776	34
10	広島	672	450	222
11	静岡	593	442	151
12	京都	550	376	174
13	沖縄	479	319	160
14	岡山	463	322	141
15	滋賀	336	236	100
16	茨城	297	251	46
17	群馬	293	239	54
18	岐阜	285	235	50
19	宮城	276	226	50
20	新潟	262	197	65
21	和歌山	234	158	76
22	愛媛	232	133	99
22	熊本	232	179	53
24	奈良	231	157	74
25	長野	214	146	68
26	栃木	206	186	20
27	山口	200	157	43
28	鹿児島	199	145	54
29	三重	197	175	22
30	富山	187	151	36
31	福島	185	110	75
32	香川	160	121	39
33	石川	151	102	49
33	宮崎	151	98	53
35	長崎	141	87	54
36	山梨	139	128	11
37	山形	136	97	39
38	高知	128	78	50
39	佐賀	127	89	38
39	福井	127	94	33
41	鳥取	126	70	56
42	岩手	124	73	51
43	青森	120	77	43
44	大分	117	96	21
45	秋田	82	47	35
46	島根	81	49	32
47	徳島	79	64	15
合計（令和2年）		22,552	17,466	5,086
合計（令和元年）		26,076	19,914	6,162
増減数（人）		-3,524	-2,448	-1,076
増減率（%）		-13.5%	-12.3%	-17.5%

